

年末年始の生乳廃棄回避について

12月下旬から1月上旬にかけて、処理不可能乳の発生が懸念され、報道等でも酪農家による生乳廃棄が危惧されておりましたが、何とか皆様のご協力により生乳は廃棄することなく危機を乗り越えることができました。

近畿生乳販連や乳業メーカーによる最大限の乳製品の処理が行われ、酪農乳業界が一丸となって取り組み、さらに消費者皆様方の応援・ご協力があったることと、改めて深く感謝並びにお礼申し上げます。

今後とも消費者の皆様にご高品質な生乳をお届けするよう、ハイクオリティミルク農協組合員総力を結集して、取り組んでまいりますので牛乳・乳製品のさらなるご愛飲をお願い申し上げます。

ハイクオリティミルク農業協同組合

代表理事組合長

丸尾建城 